

☆☆情コミプリント（後期）☆☆

📖ドイツ語BⅡ（飯森 先生）📖

Lektion 5: Ich habe noch so vie vor

-- 私はやりたいことがたくさんある --

私は選択の余地がない（私には他の何も残っていない）。私は決めなければならない。私のボーイフレンドは結婚するつもりだが、私はまだ待ちたい。

私たちは知り合って3年になる。1年前から私たちは一緒に暮らしています。彼は32歳で、私は27歳です。彼は宣伝の仕事をしていて、私はテレビ局で働いています。私たち（二人）は仕事が大好きで、縁ぎもそんなに悪くはありません（→十分に縁いでいます）。そうです、そもそも私たちはお互いをとてもよく理解しています。

それにも関わらず、私はまだためらっています。仕事がない生活というものを、私は想像できません。私のボーイフレンドは言う、もちろん君は仕事を続ければよい。しかし、もし子どもが生まれたらどうしましょう。問題ないでしょう、と私のボーイフレンドは言う。最初は、あなたは家にいればよい。後で（子どもが大きくなったら）、私たちは子どもを託児所に預けます、あなたは仕事に復帰すればよい。問題ないでしょう。

事実、ドイツではライフスタイルとしての家族は、今でもとても人気がある。しかし、その現象は次第に変化しつつある。今日、人々はそんなに早くは結婚しない。多くの人々は最初の子どもが生まれるときまで時間をかける（なかなか子どもを作らない）。家族という古典的な形と並んで、一緒に暮らすさまざまな形がある。多くのカップルは子どもがいる、しかし婚姻届を出さない。今日では、未婚の母（シングルマザー）、未婚の父も珍しくない。

私のボーイフレンドは結婚するつもりでいるが、私はまだこんなふうにはたくさんのご予定している（やりたいことがたくさんある）。私はもっと勉強したい、ひょっとしたら留学ということも考えています。私は知り合いの輪を広げたい（→もっと大勢の人と知り合いになりたい）。そして、私はそもそも自分が結婚するかどうか分かりません。その反面（一方で）、私はボーイフレンドがなぜそんなに急ぐのかよく分かります。彼はなんといっても、もう32歳です。今月、彼は33歳になります。私にはもう選択の余地がありません。私は決めなければなりません。

Lektion 6: Eine tolle Überraschung

-- 予期せぬ出来事にはしゃぐ --

昨日家に帰ったら、ドアの前に大きな荷物（小包）があった。差出人が次のようになっていた。カール・ミュラー、85653, Ayingo。

分かった、今私はまた思い出した。カール・ミュラーは以前は私たちの新聞社の編集部で働いていた。しかし、ある日突然彼が仕事を辞めた後、私たちは音信不通になった。

好奇心いっぱい、私はその小包を開けた。その中には野菜ばかりが入っていた。真っ赤なトマト、新鮮なキュウリ、大きなタマネギ、香りのよいダイコン……。一番上に手紙があった。その手紙には：

あなたは長い間私から何も聞いていない（ごぶさたしています）。私は当時新聞社の仕事を辞めた後、ハンブルクへ戻りました。私は長い間、どうすべきか考えました。私は南方へ引き寄せられました（←なんとなく、私を南方へ引き寄せていった）。偶然、私はミュンヘンの近くのある村で古い農家を見つけた。私は農場を安く買うことができた。私の妻と一緒に、私はたくさんの愛で（丁寧）それを修理した。半年後、私たちはそこに移った。その家には大きな庭があったので、私たちは野菜を栽培することができた。はじめはかなり難しかった、というのはガーデニングについて全く知らなかったからです。しかし、そうこうするうちに、最初の成果を見ることができた（→成果が現れた）。私は、あなたがこのささやかな試食品を喜んでくれることを望んでいます。

私はしばらく静かに（黙って）立っていた。そして、その新鮮な野菜の香りを楽しんだ。最後に、私はトマトを一つ手にとって、それを洗い、かぶりつきました。なんとおいしいんでしょう。

Lektion 7: Urlaub

-- 休暇 --

私たちの机の上に旅行代理店のパンフレットがあります。5月になりました。そろそろ私たちは夏にどこへ旅行するか考えなければなりません。

ハワイで"日没を体験しましょう、とパンフレットの最初のページに大きく書いてあります。素晴らしい浜辺と豪華なホテルがあなたをお待ちしています。

こことクラウディアは言って、大きなプールのあるバラ色のホテルを指差します。ここに泊まりたいです（これにしましょう）。ここに宿泊したいわ。

ちょっと待って、と私は抗議します。誰が言いましたか、私たちがハワイに行くと。4ページのここをちょっと見て、ザリシャへの研修旅行。私たちと一緒に古代ザリシャ人の足跡を辿りましょう。

研修旅行ですって、ごめんだわ。そんなものに参加するのは、年配の女性と Gymnasium の教師だけだわ。そんな人たちとは楽しく話ができないわ。あの人たちはソクラテスのことしか頭にありません。でも、ここを読んで、モンゴルでの3週間。遊牧民のテントに泊まりましょう。馬に乗ってステップ（草原地帯）を征服しましょう。スゴいでしょ。

ちょっと聞いて。最初に贅沢なホテル、それから遊牧民のテント。なんとなく、これらはどれもじっくり（びったり）来ません。今私にもう一度正確に説明してください。どんな休暇をあなたは思い浮かべているのか。

とても簡単よ；私は休暇中はいろんな活動をしたい（→アクティヴに過ごしたい）。そして、同時に私はリフレッシュもしたい。

それなら、私はよい考えがあります。私たちは素晴らしい庭があります。その庭であなたは好きなだけ活動的に過ごせます。あなたは草を刈り、花に水をやり、生垣を刈り揃えることができます。そして、私たちは素晴らしいデッキチェアーも持っている。仕事が終わったら、そのイスであなたか休養（リフレッシュ）することができる。3週間、もしあなたが望みなら。

どうか冗談はやめてください。もう決めなければならないわ（何かを見つけるときだ）。

Lektion 8: Mein Lieblingscafé

-- 私のお気に入り --

私がよく行くカフェテリアは大学から遠くないところにある。本来（そもそも）それは喫茶店ではありません。それはむしろビストロ（軽食店）です、というのはそこでは軽食を取ることもできます。チーズとハムを挟んだバケット、新鮮なクロワッサン、様々なサラダ…。それに加えて、フランスのよいワインもあります。

午前中、時間があるときは、私はそこでコーヒーを一杯だけ飲む。私は新聞を読んだり、人々の様子を見たり（観察したり）する。それから、いつもドアの隣のテーブルに座っている（席を取っている）人は画家です。彼が描いたものが私は大好きです。私が最近訪れた美術館には彼の絵が2枚かかっていた。私がいざいざ話をする隣のテーブルの年配の女性がかつて女優だった。彼女が出演した映画は、あいにくそれほど成功しなかった。しかし、彼女は話がとても上手です。昔のことについて、彼女がまだ若くて美しかった頃。

昼に私はしばしば来て、トーストを食べたり、スープを飲んだりします。この時間はたいていかなり混んでいます。また騒がしいこともある。カウンタに立ったまま食事をとっている若い人たちは、楽しそうに情報を交換しています。もう知ってますか。ズィビーレは新しいボーイフレンドができた。婚約者が日本人のステファニーは日本へ行きます。そこで彼女は仕事を見つけました。まる1時間がこのようにして過ぎます。お昼が過ぎると、また静かになります。

晩はいつも面白い。その時は（晩になると）、たくさんの学生、芸術家、音楽家、作家など（になることを望んでいる人達）がやってきます。時々、2、3人の美しいモデルを見かけます。人々は話をしたり、ディスカッションしたり、争ったり、一緒に飲んだり、友達を見つけたり、お互いをパーティに招待したりします。要するに、いつも何かが起きています。

3年前から私はこの喫茶店の常連客です。

Lektion 9: Bevölkerungsexplosion

-- 人口爆発 --

チェスはよく知られているように世界最古のボードゲームの一つだ。おそらくチェスはインドで発明された、しかも6世紀である。それについては、次のような話があります。

チェスの発明者はチェスを(提供する→)差し出すために王のところに行ったとき、王は彼に値段を尋ねた。そこで男は言った。私はあなたにお願いします。1木目に対しては1粒の米、2木目に対しては2粒の米、3木目に対しては4粒の米、4木目に対しては8粒の米をくださるよう、お願いします。ですから、前の目の倍の米粒をずっと続けてくださるよう、お願いします。王様は喜んで承諾した。そして召使いたちに命じた、その男に報酬を与えるように命じた。しかし、21木目で"に明らかとなった、彼がその男に(100万以上の米粒の借りがある→)100万粒以上与えなければならないということが明らかになった。31木目には10億粒になった。64木目でとうとう大変な数となって、必要な米粒を調達することが不可能となった。

王が倍増の効果を過小評価していたように、今日もまたほとんどの人々が分かっていない、今と同じ速度で増えたなら、それが何を意味しているか。つまり、40年²はどうでしょうか。国連の予測によれば、2000年には人口がほぼ62億人になるでしょう。この成長率が続くと、2200年には人口はおおよそ2000億人くらいになる。

進歩している医療と、低下している小児死亡率と、農業と工業のより高い生産性が次のことに貢献した、人々が今日100年前よりもずっと長生きするようになった。例えば、日本では女性の平均年齢は83歳で、世界最高だ。

それゆえに、あまりにも速い人口増加の危険について、これまでよりも強く人々に説明することが重要である。地球が100年後も、200年後も快適に暮らすことができる惑星であることは、このようにしてのみ保証されうる。

Lektion 10: Was kann ich tun?

-- 私は何ができますか --

あなたはしばしば、こんなことがありますか。

朝、朝食の席に着いてコーヒーを満喫して、ちょうど2つ目のパンに手を伸ばそうとする。そのとき、「分離主義者30名、政府軍により殺害」という新聞の見出しに目が行きます。次の記事には、次のように書いてあります。平和がモが血まみれの弾圧を受ける。次のページでは処刑された作家について報じられている。その理由は彼が人権の侵害に対して抗議したからです。

それから何となく、私は次のように考える。それら全てはここから遠く離れたところの出来事だ。南アメリカで、アフリカで、アジアのどこかで、そして気軽になって私は自分自身に言い聞かせる。私が自由で強制されずに暮らすことが"できる国で生まれたことは、なんとまあよいことか。(ドイツ)基本法では、言論の自由、個人の自由な発展の権利(→人権の尊重)といった基本的な権利が(定められている→)保障されている。国家は人権を尊重し、(これを)守る義務がある。

しかしながら、私は時々自分自身に問う：私もまた、世界の不正に対して何かすることができないか。例えば、政治犯の釈放のために尽力しているアムネスティ・インターナショナルのようなグループのメンバーとして。

☆★人口増加について★★

○	○ ○	○○ ○○	○○○ ○○ ○○○	...

$$\frac{a(r^n - 1)}{r - 1}$$

$$\rightarrow \frac{a(r^n - 1)}{r - 1}$$

$$= \underline{2^n - 1}$$